

# 天童市議会だより

2018  
2.1  
No.159  
TENDO



▲毎月第3木曜日に天童北部公民館で喫茶「いるばある」を開催しています。同時間に北斗子育てガーデン「ベビ」も開催しており、乳幼児から高齢者まで憩いの場所として賑わっています。

## 12月定例会

- 2 一般質問 11人
- 9 予算特別委員会 平成29年度補正予算
- 11 提出された議案とその結果
- 12 特集 議会報告・意見交換会
- 16 市民の声・3月定例会の日程（予定）



インターネットで  
議会中継

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

# 市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、12月7日・8日の2日間の日程で、11人の議員が行いました。

防災や減災対策の強化や鳥獣被害に対する施策をはじめ、特別支援学校の開設等について、市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。

## 質問者と質問事項 (☆印は会派名)

### ★清新会

武田正二 議員

\* 防災・減災対策の強化について

水戸芳美 議員

\* 人口減少対策について

\* 鳥獣被害防止対策

\* 子育て支援について

遠藤敬知 議員

\* ふるさと応援寄附金の活用のあり方について

\* 県総合交通安全センター付近へのスマートインターチェンジ設置について

鈴木照一 議員

\* 市制施行60周年に向けて「将棋のまち」について

\* 除排雪について

### ★こども創生の会

笹原隆義 議員

\* 本市の人口維持、更に人口増加に向けて

\* 鳥獣被害の対策について

渡辺博司 議員

\* 特別支援学校の生徒の将来の為に

三宅和広 議員

\* 保育所の休日保育について

### ★政和会

後藤和信 議員

\* がん対策について

\* 保育事業の充実について

### ★日本共産党大重市議団

石垣昭一 議員

\* 国保の都道府県単位化で保険制度はどう変わるのか

\* 米生産制度が大きく変わるが市の対応は

伊藤和子 議員

\* 市民が利用できる介護保険制度にするために

\* ごみの現状とごみ減量に向けた取り組み

### ★無会派

狩野佳和 議員

\* 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）について

## 12月定例会

### 審議日程

平成29年度第4回市議会定例会(12月定例会)は、12月4日から18日までの15日間の会期で開催されました。

初日の本会議で、平成29年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案8件及び条例議案等9件が上程され、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託されました。右記日程で審査を行い、最終日の本会議で採決が行われました。

また、最終日の本会議に市長提出の補正予算1件、条例議案1件、議員提出議案1件が上程され採決が行われました。

(採決結果は11ページに掲載してあります。)

月日	内容
12/4(月)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会の設置など)
12/7(木) 12/8(金)	本会議 (市政に対する一般質問)
12/11(月)	総務教育常任委員会 (付託案件の審査) 環境福祉常任委員会 (付託案件の審査)
12/12(火)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
12/13(水) 12/14(木)	予算特別委員会 (付託案件の審査) 予算特別委員会 (表決)
12/18(月)	本会議 (委員長報告、質疑、表決など)





避難指定所となる公立学校の  
災害対応機能強化を

武田 正二 議員

文部科学省は、避難所に指定されている、公立学校の災害対応型トイレや、自家発電設備などの導入にかかる費用の一部を市町村に補助する制度を設けている。

保、食料備蓄など対策状況は。

山本市長 現在、地域防災計画に基づき、各市立公民館を拠点として備蓄品や、発電機を配備している。文部科学省で進めている、学校施設の防災機能向上の観点から、学校と防災部局の

も使える、公立学校のトイレ機能や停電時の電力確保

点から、学校と防災部局の

- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と



農地取得の下限面積引下げ、  
耕作放棄地解消と鳥獣被害対策

水戸 芳美 議員

中山間地では人口減少が加速しているが、自然豊かで静かな所に住みたい。また、空き家と隣接している農地も購入して家庭菜園をしたいという人もいます。しかし、農地法第3条の農地取得の下限面積要件（都府県50ア以上）がネックとな

り農地を購入できない。平成21年に農地法が改正になり、地域の事情に応じて農業委員会の判断で別段の面積を定めることが可能となった。要件を1ア位まで引き下げるべきではないか。次に、イノシシ被害が多発しており、補助金に頼ら

連携を図りながら各小・中学校に簡易トイレ・毛布・食料品等の配備を検討していく。

武田総務部長 公民館から遠い学校については、物資等の配備について、優先的に行っていききたい。

市道山元道満線の  
拡幅整備を

災害時、市立第二中学校および県立天童高校は、指定避難所となるが、国道48

号線から入る道路は、市道にもかかわらず道幅が狭くなっており、東日本大震災時、また3年前の降ひょう被害時も、生徒を迎えに来た父兄の車両でパニックに陥った。指定避難所機能を強化するために早急に市道山元道満線の拡幅整備をしなければならぬと考えるが、市の考えを伺う。

山本市長 今後、国が進める天童原地域の国道48号線の歩道拡幅工事と調整を図

地の、下限面積の引下げや運用については、平成30年4月を目指す。

山本市長 電気柵が農作物の被害防止に大きく役立つている。前年度に要望調査を行い翌年度実施したい。間伐や下刈り等を行い、見通しを良くすると緩衝帯は効果がある。実施に当たっては、今後もやまがた緑環境税を活用し、森林所有者や地域の皆様と協議していきたい。



▲二中学校の東側・天童高校から北は、急に狭くなる山元道満線

りながら事業化を進めていく。

また、事業の進捗状況を見ながら、住民への説明会等を開催したい。

休日保育施設の  
設置を

本市には、日曜日に子どもを預けられる保育施設がない。土日就労家庭も多くなってきたおり、休日保育施設が必要ではないか。

山本市長 ニーズ調査を行い、施設を運営する民間事業者に対し、休日保育の実施を働きかけた。



「ふるさと創生基金」を創設して  
新たな農業基盤の確立を

遠藤 敬知 議員

ふるさと納税寄附金は、本市の貴重な財源であり、公金である。市民への公益性・透明性を確保し、効果の検証と寄附金の有効活用を図るため、「ふるさと創生基金」を創設すべきでは。ふるさと納税による農産品の返礼割合額が8割以上

を占めており、農業を営む農家の方々こそが、本市ふるさと納税額を大きく押し上げた最大の功労者である。農業所得の安定・向上と持続可能な農業基盤の確立のため、法人化や周年農業取り組みへの支援を早急に図るべきでは。



市制施行60周年にむけて  
秋も人間将棋を開催しては

鈴木 照一 議員

先人への感謝とともに、新たな本市の魅力を市内外へ示し、本市の未来に明るい希望を感じられる事業を期待する。春の風物詩となった「人間将棋」を、秋も実施してはどうかか。

組めるもの、様々な世代が交流、参加でき、本市の魅力等を発信できるもの、後世に財産として残るものという観点から調整している。人間将棋については、場所を変えて子ども人間将棋の開催等ご意見をいただきたいが実現までは至らなかった

**山本市長** 財産を維持し、積み立てるといふ基金の性質上、寄附者が希望する施策への対応において課題がある。また、寄附制度の継続が不透明なこともあり、現時点では基金ではなく一般会計の中で対応していく。法人化への支援は行政もノウハウを持っており、担い手不足解消のため具体的にとどのような支援ができるのか検討し、本市独自の対策を進めたいと思っている。

スマートーCの早期整備で地方創生を

平成27年6月定例会の一般質問にてスマートインターチェンジを設置した、仮称「ふれあいポケットパーク」構想を提案した。

定住人口の増加が見込めない今、交流人口の拡大策



▲ポケットパーク(参考イメージ)

が本市の地方創生に欠かせない夢のある重要な事業であるが、進捗状況と今後の市の役割と取り組みは。  
**山本市長** 今年5月に国や県、東日本高速道路株と懇談会を開催後、基礎調査業務を委託して形式や必要性について取りまとめ11月には勉強会を開催している。勉強会での意見や課題を検証し関係機関と協議を重ねて連携を図り、整備に向けて事業を進めていく。

た。学校や教育委員会とも調整し、今後調査を進めた。春の人間将棋の内容をさらに充実させ「市制施行60周年記念人間将棋」として実施し、60周年という節目の年の幕開けとしたい。

間口除雪や農道除雪などの対策は

高齢者世帯等の間口除雪、交差点部の排雪と段差解消、農道除雪等、どのように対応するのか。

**山本市長** 昨年度、除雪により宅地の間口に寄せられた雪の排雪について多くの要望があった。道路の排雪は、道路脇に寄せられた雪高が、概ね1メートルになった場合実施している。交差点部の段差は、県と市の除雪車出動の時間差等が原因で生じる。県と対策を協議し、後で除雪した方が段差の解消を行うこととしている。

間口除雪を行っている。高齢者のみの世帯等を対象に間口除雪を行っていきたいと考えており、現在、関係機関と協議を行っている。



▲間口除雪を行う作業員

**小笠原建設部長** 今年度は試験的に、ある一定のライ

**阿部経済部長** 農道の除雪については、突然の大雪により果樹の枝折れ等の被害が懸念される場合は、緊急の対応を行う。





本市の人口維持、  
更に増加に向けて

笹原隆義 議員

本市は平成37年には6万人を切るという推計がある中、少子化に歯止めをかける点で多子世帯への負担軽減の拡充が重要と考える。フランスやスウェーデンでは第3子以降への手厚い支援で高い出生率を維持している。他自治体でも多子世

帯への色々な施策を打ち出して少子化に歯止めをかけるよう努力している。そこで、本市でも多子世帯へ経済的支援として地元産米などの農作物や、現金給付をしてはどうか。

また、若者が流出する状況の改善としてUーJター



特別支援学校  
中学部の開設を

渡辺博司 議員

市内の県立村山特別支援学校天童校には、小学部はあるが、中学部、高等部がなく、特別支援学校へ通う中・高校生は、毎日他市へ通学をしている。生徒たちや家族にとっては不便であり、教育を受けるにも負担となっている。早期に中学

部、高等部を開設し、安心して教育を受ける環境づくりをする必要がある。市の考えを伺いたい。

相澤教育長

障がいのある無にかかわらず全ての子供が自立や社会参加に向けて地域で学び、地域で育ち、地域で積極的に活動できる環

ンも必要である。就職説明会での交通費の支援、奨学金免除の年齢拡充、就職情報提供など積極的な施策を打ち出している。

経済的や待機児童の問題で親世帯と同居・近居の利点は大きい。現在のリフォーム支援の拡充をしてはどうか。

山本市長 第3子以降を対象とした保育料と学校給食費無料化事業を実施し、今後これらの取組を継続

境を整えていくことが求められる。県に対して村山特別支援学校天童校の充実を含め、中学部、高等部の設置について継続して強く要望していく。

障がい者の作業所と  
グループホームの増設を

特別支援学校を卒業した生徒たちは、就労の場として作業所を利用するが、他市と比較すると作業所が少ない。作業所の増設等を通

し、多子世帯への経済的負担の軽減を図る。

UーJターナー者については、山形労働局と雇用対策協定を締結して合同就職説明会の開催や、工業団地を造成し雇用の場の創出を行っていることから、UーJターナー者を対象とした就職活動支援については考えていない。

住宅リフォーム総合支援事業の補助の上乗せについては調査研究していく。

じて、就労できる環境づくりをする必要がある。また、高齢の親にとっては障がいがある自分の子供が安心して暮らせる場所が欲しい。障がい者が入所できるグループホームを、市内に増設する必要がある。市長の考えを伺いたい。

山本市長 障がい者就労施設は障害者総合支援法に基づき障がい福祉サービス事業所として、社会福祉法人や民間企業、NPO法人等

カラスのフン被害の  
対策を

カラスに追われる事やフン被害により市民や子どもたちの通学に被害が出ている。猛禽類での威嚇や音を使って山へ追い返すなど積極的な施策を打ち出すべきではないか。

赤塚市民部長 猛禽類による追い払いを市内の鷹匠の協力のもと行っていく。音を使った対策は研究していく。

が設置運営を行っている。今後、法人等が市内に障がい者就労施設を設置する場合は、様々な面で相談、支援を行っていく。また、グループホームの利用希望者も、今後増えると考えており、グループホームを設置する場合にも、様々な面で相談、支援を行っていく。障がい者が身近な就労施設等で働きながら、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを目指していく。



## 保育所での 休日保育の実施について

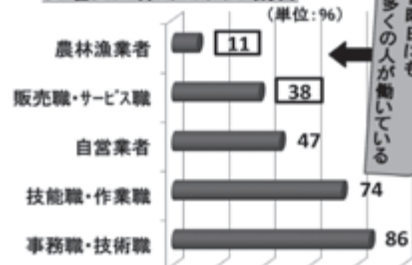
三宅和広 議員

「日曜日に開いている保育所がなく困っている」という話を聞く。子どもを持つ人の中には当然、日曜日に働いている人もいる。子どもがいない場合もあるのではないか。また、日曜日の保育所開設は雇用環境の改善

急に開設する必要があると考えるが、市長の考えは。山本市長 休日保育を実施している県内他市町での年間の延べ利用者数は50〜400人と、市町ごとに大きな幅がある。休日保育事業を円滑に運営するには、ニーズを的確に把握する必要があると考える。そのため、早急に休日保育のニーズ調査を実施した上で、民間事業者に対し休日保育の実施を働き掛けたい。

小川健康福祉部長 休日保育については一定のニーズはあると認識しており、その実施については、きちんとしたデータに基づいて民間事業者にお願いしていく。休日保育は、保護者の休みが日曜日以外の平日に設定されており、休日に常態的に保育を必要とする場合には通常通っている施設に子どもを登園させずに、日曜日に休日保育を実施する

日曜日が休みの人の割合



NHK放送文化研究所「2015年国民生活時間調査」を基に作成



## ピロリ菌の検査体制の 充実について

後藤和信 議員

日本人の約半数の方がピロリ菌に感染していると言われている。現在、市の検査体制はスマート健診の20歳〜39歳、人間ドッグなどの集団健診では40歳〜60歳まで5歳刻みで、希望者のみの実施となっている。受検率を上げるとは、将来

胃がんになるリスクを大幅に下げると言われていることから、今後受検率の向上のためにどのように取り組んでいくのかを伺いたい。山本市長 ピロリ菌検査は胃がんになりやすい危険度を調べる検査である。胃がん検診と一緒に簡便な血液

中学生に対するピロリ菌検査の考えは 20代未満の保菌率は約10割であると言われている。将来の胃がんのリスクを最小限にするために、早期に検査を実施し、保菌者には除菌することが有効である。早期に対策を施すことで、経済的及び精神的負担、また医療費負担の軽減にもつながり、費用対効果が十分に見込まれる事業で

もある。中学生に対する早期の検査導入の考えは。山本市長 平成33年度から実施される中学校学習指導要領においても、生徒自身が自分の健康に関心を持ち、がん予防につながる生活習慣を早い時期から身に付けていくよう健康教育が明記されている。このため、中学2年生を対象とした貧血検査の機会を活用し、ピロリ菌の検査の実施を検討していきたい。

※ピロリ菌検査…抗ヘリコバクターピロリIgG抗体検査+ペプシゲン検査





天童市の国民健康保険税はどう変わるのか

石垣昭一 議員

国保は「保険税が高く払おうと思ってもなかなか払えない」など保険税負担は重すぎるとの声がある。

県の国保運営方針案が示されたが、保険税はどうなるのか、本市の対応を伺いたい。

山本市長 国民健康保険事

業については、平成30年度から県と市町村が共同で運営することになる。県は財政運営の責任主体として中心的な役割を担い、市町村は資格管理、保険給付、保険料率の決定、賦課徴収、保険事業等の地域における

きめ細かい事業を引き続き担うことになる。

担うことになる。

本市の保険税は現在、所得割・資産割・均等割・平等割の4方式の算定方式をとっているが、県の方針案では資産割を除く3方式への移行が示されている。県では12月末に国から確定係数が提示された後に納付金の本算定を行い、1月中旬に納付金の額を市町村に示す予定である。県が決定する納付金の額を踏まえ、本市の国保税の算定方

米生産制度が大きく変わるが市の対応は

山本市長 県農業再生協議

政府は平成30年度から国による米の生産数量目標の配分、米の直接支払交付金を廃止するが、米の生産や流通を無秩序な状態に追いやり米価の暴落に拍車をかけると農家が心配している。転作への対応も含めどう対策をとるのか伺いたい。

山本市長 県農業再生協議

会では、平成30年度以降について、需要に応じた米生産を行うとの方針を決定している。これを受けて本市では、県協議会方針に沿った対応を基本として、本市協議会に示される生産の目安に基づき、生産調整を推進する。

なお、水田活用の直接支払交付金は引き続き実施されることから、需用に応じた適切な生産が図られるものである。



介護保険制度の現状と第7期計画策定の考えは

伊藤和子 議員

要介護認定の申請状況と認定結果、介護保険の利用実態の現状は。要介護認定の割合が低くなっている理由は。

国は第7期に向け、給付と負担の見直し、医療・介護一体改革、福祉のあり方の見直しと言っている。利

用者・保険者・事業者にとつて厳しい制度になる懸念があるが、第7期計画をどう進めるのか。

山本市長 平成28年度の要介護認定の申請件数は前年に比べ62件増加し3572件。10月末現在の要介護認定率は16.8割となってい

る。介護給付サービスの利用はショートステイを含めた施設系の利用や通所・訪問リハビリなど在宅系の利用が共に伸びている。

また、新しい総合事業のサービスの利用実態は、簡易なチェックリストによる判定で利用できることから、件数も順調に推移している。

10月から地域支援事業の居場所づくり事業に活動支援費の交付を始めた。現時

点で4団体の申請の動きがあり、他に数団体で実施を模索している。

第7期計画は、団塊の世代が75歳になる平成37年を見据え、医療と介護、予防、住まい、生活支援が包括的に確保される地域包括ケアシステムの深化、推進に向け、高齢者介護の実態に即した計画になるよう、策定作業を進めている。

小川健康福祉部長 要支援1・2は認定の期限があり、



▲高齢者通い場事業の様子

# 議会のうごき

■10月

- 24日 県・市町村行政懇談会(県庁/議長・局長)
- 26日 てんどう創生の会研修会参加(東京都)
- 26日~27日 無党派議員研修会参加(東京都)
- 27日 総務教育常任委員会研修会
- 30日 市長要請環境福祉常任委員会(高齢者健康福祉施設基本構想(案)について 外3件)

■11月

- 1日~2日 ラ・フランストップセールス(大阪/議長) 環境福祉常任委員会研修会
- 2日 東京都日野市議会視察来童 総務教育常任委員会研修会 市長要請総務教育常任委員会(第一中学校改築工事)
- 5日 天童ラ・フランスマラソン2017
- 7日 群馬県安中市議会視察来童 三市二町正副議長懇談会(山形市/議長・副議長・局長)
- 8日 大分県豊後大野市議会視察来童
- 9日 広報委員会視察調査(川西町/広報委員) 山形県市議会議長会議会報研修会(長井市/広報委員) 群馬県館林市議会視察来童
- 13日 第138回山形県市議会議長会総会(上市市/議長・副議長・局長)
- 16日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 新任議員研修
- 17日 経済建設常任委員会研修会 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 議会運営委員会 市道矢野日高揃線(羽野高揃橋)現地視察
- 22日 経済建設常任委員と農業委員との農業懇談会
- 27日 議会運営委員会 山形県市議会議長会 県知事・県議長への県議会議長会要望活動(県庁/議長・局長)
- 28日 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会 全員協議会・定例会
- 29日 議会報告・意見交換会(環境福祉常任委員) 各派代表者会

■12月

- 4日~18日 第4回市議会定例会
- 4日 広報委員会 市長要請環境福祉常任委員会(児童福祉扶助費の負担上限月額の取扱い過誤について)
- 11日 市長要請環境福祉常任委員会(第7期天童市介護保険事業計画(案)の策定状況について 外)
- 12日 市長要請経済建設常任委員会(天童農業振興地域整備計画書(案)について) 議会報告・意見交換会(経済建設常任委員会)
- 14日 市長要請環境福祉常任委員会(上山口採石場跡地からのコンクリートくず搬出について)
- 18日 広報委員会 市長要請総務教育常任委員会(第七次天童市総合計画基本計画について)

■1月

- 4日 新春賀詞交歓会
- 5日 広報委員会 山形圏域奥羽新幹線整備実現同盟会設立総会(山形市/議長・局長)
- 9日 市長要請環境福祉常任委員会(中期経営計画の進捗状況について 外2件)
- 11日~12日 てんどう創生の会研修会参加(全国市町村国際文化研修所)
- 18日~19日 てんどう創生の会研修会参加(全国市町村国際文化研修所)
- 15日 広報委員会
- 16日 議会報告・意見交換会(総務教育常任委員会)



略称、障害者差別解消法に  
準じた市独自の条例の制定を  
狩野 佳和 議員

国では、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)が制定され、県でも、山形県障がいがある人もない人も共に生きる社会づくり条例が平成28年4月から施行されている。

市は、障がいを理由とする差別の解消の推進に向けて先駆けて取り組み、市民に周知し、市民が一体となつて取り組むように目指さなければならぬ。先ずは、独自の条例が必要であり、制定には適時が必要である。東京オリンピック時には、先進国として当たり

前の対応ができる自治体と住民であるべきだ。  
山本市長 本市では法律及び県条例に基づき、市が独自に策定する障がい者プランを基本として、障がい者の差別解消に向けて取り組みのため、制定は考えていない。

条例を適時につくることは大事だというご指摘は、そのとおりだと思つて。それが生じた場合には、適時改正をしていく方向もあつて

良いと思う。  
公共施設の更なるバリアフリー化を望む  
差別の解消の推進を図るために、これまで取り組んだ施策は何か。また、公共施設のトイレの洋式化を含めたバリアフリー化を図る必要があると考える。  
山本市長 聴覚障がい者の理解のために、手話教室を40年以上実施している。また、12月1日号の市報に、



▲障がい者が多く利用する福祉センター



## 保育士処遇改善に向けて

12月4日の本会議に一般会計3億4978万2000円を追加する補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

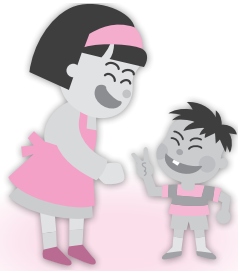
また、12月18日の本会議には、一般会計77万4000円を追加する補正予算が上程され、原案のとおり可決されました。審査の主なものは次のとおりです。

### 私立保育所保育士の処遇改善

**委員** 保育士の処遇改善のため4000万円計上されたが、どう改善されるのか。

### 子育て支援課長

私立の認可保育所すべての保育士に月額6000円程度の処遇改善が図られるよう保育委託料を加算する。さらに、技能・経験に応じて、経験7年以上の副主任保育士・専門リーダーは月額4万円が、経験3年以上の職務分野別リーダーは月額5000円が改善されるよう保育委託料を加算する。



### 障がい児通所へ支援増

**委員** 障がい児通所支援の

費用約7000万円増の要因は。

### 社会福祉課長

利用者が増え、成28年度の150名から、現在163名に増えている。また、市内の事業所で、障害児相談支援が3カ所、児童発達支援が2カ所、放課後等デイサービスが7カ所に増えたことや事業所が行う送迎サービスにより、複数の事業所を利用する方が増えたことで利用件数が増加したものの。

### 税収増の要因

**委員** 個人市民税7400万円増と固定資産税1億4000万円増の内容は。

### 税務課長

個人市民税は、当初予算では前年度比2.2割の増を見込んでいたが、予想を上回る景気回復が図られ増えた。固定資産税は、土地については、評価額の下落幅が0.7割のマイナスにとどまったため、家屋については新築家屋が予想を上回ったため、また償却資産については、

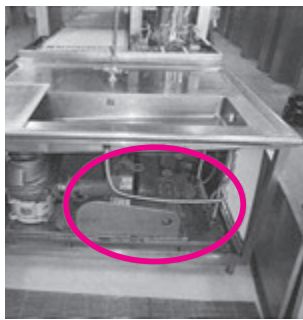
申告が増えたために増えた。

### 残菜処理台修繕

**委員** 学校給食センターの管理に要する経費63万円の内訳は。

### 学校給食センター所長

残菜処理室残菜処理台の搬送ポンプ及びモーター等の交換と、食品庫プレハブ冷蔵庫の室内機等の交換費用である。



▲搬送ポンプ水漏れ箇所ほか

### 市民病院の救急医療への対応策

**委員** 市民病院事業会計負担金7万5000円の内容は。

### 市民病院事務局長

主な内容は、救急科の専門医を招聘するものである。北海道から毎月2泊3日で勤務しており、1回5万円の交通

費を支給している。なお、山形出身の医師であり、平成29年4月から平成30年3月までの12回の勤務である。

### 結婚後も希望者に旧姓を併記

### 委員

住民基本台帳システム改修業務委託料445万8000円の内容と、マイナンバーの交付状況は。

### 市民課長

マイナンバーの交付状況は約4600件である。今回のシステム改修は、マイナンバーカード・通知カード・住民票に、結婚等で姓が変わった方で、希望する方々に旧姓を併記するためのシステム改修業務である。

### 予算特別委員会正副委員長を互選

12月4日に開催された予算特別委員会において、委員長及び副委員長が互選されました。

委員長 鈴木 照光 一吏  
副委員長 鈴熊 澤 光

# 議案を審査しました

12月定例会では議案9件及び請願1件が各常任委員会へ付託され、12月11日に総務教育常任委員会・環境福祉常任委員会が、12日に経済建設常任委員会が開催され審査しました。また18日の本会議で、各委員長から委員会での審査状況について報告がありました。報告の主な内容は次のとおりです。

## 総務教育

**住宅ローン減税の適用期間を延長。軽自動車税に「環境性能割」を創設。**

**税務課長** 地方税法の一部改正に伴い、法人市民税の法人税割の引き下げ、個人市民税では、住宅ローン減税の適用期間を平成33年までに延長する。固定資産税・都市計画税では「わがまち特例」の導入により一部の課税標準を軽減する。また、軽自動車税では、自動車取得税の廃止による「環境性能割」を創設し、従来の軽自動車税は「種別割」に改める。

**委員** 軽自動車税で創設される「環境性能割」では、

どのような基準で課税段階が決定するのか。

**税務課長** 平成17年の排ガス基準と平成27年・32年燃費基準の達成状況により課税段階が決定する。



## 環境福祉

**市民文化会館の指定管理者を指定。新たにレコードサロンの運営も加わる。**

**文化スポーツ課長** 市民文化会館の管理運営について

て、平成30年度から5年間引き続き株式会社東北共立を指定する。新たにレコードサロンの業務も加わる。

**委員** 株式会社東北共立を選定した理由は。また新たにレコードサロンの管理運営が加わるが、事業内容に変更はあるのか。

**文化スポーツ課長** 指定管

理経験が非常に豊富であり、「芸術文化を身近な形で、喜びと感動のある施設」というコンセプト



▲市民文化会館内にあるレコードサロン

## 経済建設

**周辺集落部での住宅建築の要件を緩和**

プトの下に、質の高いサービスが期待できる。またレコードサロンの開館時間を、午前10時から午後4時までとし、月曜日を定休日にしたいと提案を受けている。

**都市計画課長** 新たに拠点

集落等に区域を指定し、周辺集落部における既存コミュニティの維持を図るため、市街化調整区域の開発行為等に係る許可基準の見直しを行う。あわせて、有料老人ホーム・介護老人保健施設の建築を、本市の判断で許可できるように改正する。

**委員** 開発可能なエリアが広がったのか。また、今まで宅地造成ができなかった農村集落付近にも住宅が建てられるということか。

**都市計画課長** 開発可能な



エリアが広がるものではないが、市内の集落は、ほぼこの条例の適用範囲内となり、市街化調整区域での住宅建築の要件が緩和される。

## 教えてケロっす



**Q** 議案の審査とは？

**A** 市長が提案した議案を詳しく調べるため、担当する常任委員会で議論し、委員会として結論を出すことをいいます。



# 提出された議案とその結果

平成29年度第4回市議会定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

## 第4回定例会(12月4日～12月18日)《市長提出議案》

議案番号	件名	結果
議第50号	平成29年度天童市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 (全会一致)
議第51号	平成29年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第52号	平成29年度天童市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第53号	平成29年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第54号	平成29年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第55号	平成29年度天童市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第56号	平成29年度天童市民病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第57号	平成29年度天童市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第58号	天童市市税条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第59号	天童市産業集積の形成に関する固定資産税課税免除条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第60号	天童市子育て未来館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第61号	天童市市営住宅条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第62号	天童市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第63号	天童市わらべ館の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第64号	天童市市民文化会館の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第65号	天童市立図書館の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第66号	天童市西沼田遺跡公園の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議第67号	平成29年度天童市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 (全会一致)
議第68号	天童市特別職に属する者の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決 (全会一致)

## 《議員提出議案》

議案番号	件名	結果
議員提出議案第1号	天童市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の設定について	原案可決 (全会一致)

**各市町の負担金が確定**

平成29年11月28日に組合議会第3回定例会が開催され、平成29年度の各市町の負担金が確定しました。各市町の内訳は下表のとおりです。

また、監査委員に笹原隆義議員が選任されました。

## 平成29年度構成市町負担金確定額

(単位：千円、%)

市町名	H29年度	H28年度	前年比
天童市	307,243	308,970	99.4
東根市	264,192	258,097	102.4
村山市	133,932	135,283	99.0
河北町	117,854	114,611	93.7
合計	823,221	816,961	102.8

## 東根市外二市一町共立衛生処理組合 (フリーンピア共立) 議会報告

**蔵増ハイパス**

地区内の渋滞解消や安全性の向上を図るため整備を行ってきたものです。

去る12月12日の経済建設常任委員会で現地視察を行いました。視察先は、主要地方道天童大江線蔵増ハイパスと天童古城地区天童公園駐車場です。

## 委員会活動

去る平成29年12月26日に共用開始されています。

**天童公園駐車場**

愛宕沼親水空間へ向かう階段やデッキスロープ、トイレなどが整備されています。舞鶴山での人間将棋など、多くの市民や観光客が利用する場所となります。



# 議会報告 ・ 意見交換会

本市議会では、これまで4班編成で各市立公民館で議会報告・意見交換会を行ってきました。この度、常任委員会委員と各種団体等の方と初めて議会報告・意見交換会を行いました。

各会場での内容をまとめましたので、ご報告いたします。

なお、市議会ホームページで報告をご覧いただけます。

## 環境福祉と 学童保育連絡協議会

平成29年11月29日(水)  
長岡よつば第一児童クラブ

天童市学童保育連絡協議会との議会報告・意見交換会を行った。市内には23の放課後児童クラブがあり、それらを運営する10の協会で構成されるのが同協議会である。各協会の会長、支援員など20人が参加した。

最初に、学童保育連絡協議会から市内の学童保育の現状について、次のような説明があった。

- ・ 児童数が46人以上の学童が約半数あり、早急な分離分割が必要である。
- ・ 放課後児童支援員が不足している。

- ・ 協会員で差がある保育料、指導員処遇等を統一

### 大規模学童の解消を

**参加者** 40人を大幅に超えているところでは支援員の

目が行き届かないし、子ども同士でも名前が覚えられないなど、落ち着いた生活ができない状況である。静かな環境で生活できるようにしてやりたい。

### 支援員の確保策は

**参加者** 支援員として優れた人材でも生活設計が立てられないと辞めてしまう。生活設計が立てられる処遇にしてやりたい。そのためにも委託料を増額してほしい。

**参加者** 3年で辞める市の臨時職員に学童の支援員にならないかを声掛けしてもらえないか。

**参加者** 市独自に学童の支援員への支援が行えないか。学童の支援員の処遇が保育園の保育士と同じくらいのものであれば学童の

支援員になる人は少ないのではないかと。開所時間などがクラブ間で違いがあり、統一することも大事ではないか。寒河江市のように市連協での話し合いに市の担当者から入ってもらうことは可能ではないか。議員からも声掛けしたい。

### ユニットハウスの利用は

**委員** ユニットハウスでこのままで5年間過ごせるのか、新しい建物を望むのか。

**参加者** 本音は新しくしてもらいたい、5年間は工夫してやっていくしかない。

**参加者** 入所児童が増えていく状況がある。また、施設面の格差が大きく利用者に不公平感もある。新しい施設をお願いしたい。



▲学童保育連絡協議会との意見交換の様子

以上のような意見交換がなされた。市議会として天童市での学童保育に関わる問題点等を理解することができた。また、具体的に取組むことができることもあり、それらを今後の議会活動の参考にして、市内の学童保育の充実を図ってきたい。

(遠藤敬知、三宅和広、伊藤和子、伊藤護國、後藤和信、狩野佳和、村山俊雄)



## 経済建設と

### 若手農業者

平成29年12月12日(火)  
市農業センター

市内の若手農業者の方7人と、現在抱えている悩みや頑張っていること、本市に対しての要望や将来の農業についてどのような夢を描いているか意見を交わした。

### 人手不足の現状と対策

**参加者** サフランボは県の特産品であり、収穫時期に企業の有給休暇取得や週末手伝いの呼びかけをしても

らえないか。

**参加者** 大型商業施設ができてから人手の確保が特に困難になった。県外や海外から研修制度を活用し人手を確保して欲しい。



▲参加者の若手農業者

**参加者** サフランボの時期だけの人手確保は困難。年間を通して人材派遣のできる体制の構築が望ましい。同時に主力品種が違う農家の連携が必要だ。

**参加者** 働く時間帯、作業場所等を工夫することで男女関係なく採用の幅が広がる。楽しく働けるよう受け入れる農家の環境整備も重要だ。

**参加者** サフランボと桃の期間、5月か

ら9月までは本当に人手が欲しい。都合のいい時間に働いてもらえるよう対応している。

**参加者** 県が主催するボランティアを受け入れているが、1日で終わる。期間を長くしてもらいたい。

**参加者** 働きたい人と農家双方が相談できる(ハローワークのような)窓口があればいいのではないか。

### 市への要望等

**参加者** ワイン用のブドウを栽培している。本市は栽培品種が多く、全市一丸となって栽培するということがない。どこに向かえばいいか方向性を示してほしい。

**委員** 海外輸出を見据え、規模拡大や法人化、農業団地の造成も必要では。

**参加者** 農水省主催「女子農業プロジェクト」に参加し、香港で農産品を販売してきた。日本産の安全な食品は高くても飛ぶように売れた。通年で販売できる生

産体制の構築が必要。

**参加者** 果樹に農業団地は適さない。何にでも手を出して忙しくなり、自分の首を絞めている。

**参加者** 2年前から農協果樹青年部で「金将ふじ」の栽培を始めた。将来的に海外に輸出したいが、その際市は力を貸してくれるのか。また、数年前から果樹青年部で婚活パーティーを実施しているが、市から援助してもらえないか。

**委員** 生産者の皆さんが協力し行動していく中で、行政に補って欲しいことを提案していくべき。婚活の支援はすぐに話をしていく。

**参加者** 地元の農業を守るため、空き家と遊休農地をセットにして市外県外からの就農者を募って欲しい。

**参加者** 農地の貸し借りが簡単にできるようにしてほしい。増え続ける耕作放棄地の影響もあり、イノシシやサルの出没で困っている。議員ももっと農業の勉強をして助言してほしい。

### 将来の夢・感想など

**参加者** ワイン用のブドウ作りに加え、加工品作りにも力を入れていく。今回いろいろな話ができて良かった。同世代の交流できる機会があればいい。

**参加者** 息子が将来仕事に就くこと、選択の一つとして農業があるようにしたい。参加して有意義だった。

**参加者** 就農間もないのでお客様に満足してもらえよう技術を身につけたい。日頃同世代の方との交流や意見交換の場が少ないので参加してよかった。

青年農業者の皆さんの声を聴き、人手不足の現状や将来の夢など、より具体的に理解することができた。今回話していただいた意見や要望を市執行部に届けていきたい。

(水戸芳美、遠藤喜昭、鈴木照一、石垣昭一、山崎諭、松田光也、熊澤光史)

## 長期欠席議員の報酬カット

本市議会では、議員が病気などにより長期の欠席をした場合に、議員報酬と期末手当を減額することについて、各派代表者会及び各会派からの代表者で構成する作業部会での検討を重ねてきました。

検討した結果、議員提出議案として、12月18日の本会議に提案し、全会一致で原案のとおり可決されました。今後も議員の責務を果たし、議会への住民の信頼確保に努めます。

### 天童市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例

(目的)

第1条 この条例は、議員の職責及び議会への住民の信頼の確保に鑑み、天童市議会議員（以下「議員」という。）が、疾病又は負傷（以下「疾病等」という。）により議会活動を行うことができない場合における当該議員の議員報酬及び期末手当の支給について、天童市特別職に属する者の給与に関する条例（昭和31年条例第27号）の特例を定めるものとする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 会議等 天童市議会定例会及び臨時会、天童市議会委員会条例（平成3年条例第24号）の規定により設置された委員会並びに天童市議会会議規則（平成3年議会規則第1号）別表に規定する全員協議会をいう。
- (2) 公務上の災害 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例（昭和42年条例第28号）の規定により認定された公務上の災害をいう。

(議員報酬の減額)

第3条 議員が疾病等により議会活動を長期間休止したときの議員報酬は、当該議員の職に応じた議員報酬から、当該議員が次の各号に掲げる会議等を欠席した日から起算して次に会議等に出席した日の前日までの期間（以下「議会活動のできない期間」という。）の区分に応じて、当該各号に定める割合を乗じて得た額を減額して支給する。

- (1) 議会活動のできない期間が180日を超え365日以下であるとき 100分の25
- (2) 議会活動のできない期間が365日を超えるとき 100分の50
- 2 前項の規定は、議会活動のできない期間が180日を経過する日の属する月の翌月（その日が月の初日であるときは、その日の属する月。以下これを「減額開始月」という。）から、減額となる月の議員報酬月額を基礎として適用する。ただし、議員資格を失う等減額となる月に受けるべき議員報酬がないときは、前項の規定は、適用しない。
- 3 第1項の規定により議員報酬の減額を受けている議員が、議会活動を再開したときは、議会活動を再開した日の属する月の翌月（その日が月の初日であるときは、その日の属する月。以下これを「解除月」という。）から報酬の減額を解除する。ただし、減額開始月と解除月が同じ月にあるときは、解除月は、その翌月とする。

(期末手当の減額)

第4条 6月1日及び12月1日（以下これらの日を「基準日」という。）のそれぞれ前6月以内の期間において、前条第1項の規定により議員報酬の支給を減額された月があるときは、その職に応じた期末手当を月割により減額する。

(月割計算)

第5条 前条の規定による月割により期末手当の支給を減額する額は、議員報酬の支給を減額された月ごとに、支給すべき期末手当を6で除して得た額に当該月に係る第3条第1項各号に定める割合を乗じて得た額（1円未満の端数を生じたときは、これを切り上げた額とする。）を算出し、それらを合算して得た額とする。

2 前項の規定の適用については、基準日の前6月以内の在職期間が6月に満たない場合は、在職月数で除することとする。ただし、1月未満の在職期間は、切り捨てるものとする。

(適用除外)

第6条 次に掲げる事由により議会活動を長期間休止したときは、第3条及び第4条の規定は、適用しない。

- (1) 公務上の災害
- (2) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）に規定する感染症
- (3) 災害その他議員の責によらない事故等の場合で、議長が公務上の災害に準ずると認めるもの

(減額の効力)

第7条 この条例の規定により前任期中に議員報酬を減額されていた議員が、再び議員の資格を得たときは、前任期中の減額の効力は及ばないものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、議長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

平成29年12月20日に公布されました。



市民の声 市立第四中学校 2年生の皆さん

12月8日の本会議に、第四中学校の2年生8人が校外学習として、傍聴に来てくれました。後日、勉強会を行い、感想文をいただきましたので、ご紹介します。

今野 偉吹さん

今回、議会傍聴というとても貴重な体験をさせていただきました。市のことについて真剣に質問をしました。この方々のおかげで安心な生活を過ごせていると知り、感謝しています。また議員の方々のような話し合いを中学校でもしていきたいと思いました。

布施 瑠大さん

今回はとても貴重な体験をさせていただきました。議会の話し合いは傍聴にも緊張感が伝わってきました。私たちが傍聴していた方はベテランの人でした。伝えたい内容を効率的にまとめて話をしていました。学校でも傍聴した事を活かして生活したいです。

藤澤 壮真さん

議場に入った時、僕は議場までの廊下よりも緊迫感にあふれていると感じました。理由は、発言者や回答する方の顔がとても真剣で、こちらが緊張してしまっただけです。しかし議会が終わる議場に明るい笑顔がこぼれていた時、落ち着いた気持ちになりました。



吉田 昂生さん

今回、市役所の中や議会を見学させていただきありがとうございました。それに私たちの質問にもしっかりと返答してくださりありがとうございました。ありがとうございます。議会のときの意見の述べ方や返答の仕方はとても勉強になりました。このことを学校生活でしっかりと生かしたいです。

太田 虎伯さん

天童市議会を見学させていただきました。質問していただき、質問する人がいて、それに答えてくれる人がいて天童市をよりよい町にするために話し合っていることがわかりました。これが



▲校外学習で議場を見学した四中生

私も調べていきたいと思いました。

國井 大慈さん

僕は議会を傍聴させていだいたり、議長席に座らせていただくという経験をさせていた

させていた。質問は一つだけで、何個も時間ギリギリまでしてました。議長席に座ったときは不思議な感覚がしました。貴重な体験をさせてもらい、ために

佐藤 凛太郎さん

いつも天童市を活発にするために素晴らしい意見が飛び交う所を見させていた。だきとても勉強になりました。

中島 孝太さん

私は、天童市議会を傍聴させていただきました。質問しているところを見させていだいたんですが、一問一答ですが、たくさんの質問を用意しており話合っているのがわかりました。市政については、詳しくわからないのでこれから調べていきたいです。



た。高校生まで医療費無料を広げ、第3子以降の子どもの給食費や保育費を無料にし、子育てや医療に力を入れてほしい市だと改めて思いました。

# 市民の声 蔵増小学校6年生の皆さん

12月15日に、蔵増小学校6年生の皆さんが社会科の校外学習として、議場見学に来てくれました。見学の際の感想文をいただいておりますので、その一部をご紹介します。

高橋 芽依さん

\* 天童市議会は、選挙で選ばれた議員が、市民の代表として市の税金や予算、条例などを話し合っていることが分かりました。天童市をより良くするために、いろいろな議題について話し合っていることを教えてくださいました。

那須 美月さん

\* 議場で発言する時は、議長の話が必要だと分かりました。議場での話し合いの様子は、録画用のカメラで撮影して、インターネットを通して中継していることも分かりました。今度、みんなで中継を見てみたいです。

横田 奈歩さん

\* 市議会には、いろいろな議員さんがいて、私たちの住んでいる蔵増出身の方の名前もありました。市議会は、昭和33年にできて、歴史があると感じました。私も一度、実際の議会の様子を見に行きたいと思いました。

土屋穂乃香さん

\* 天童市議会には、議員の方が22人いて、18歳から選挙権があることが分かりました。私たちが安心して暮らせているのは、市議会の人々が考えてくれているからだと感じました。

## 3月定例会の日程 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/25	26	27	28 本会議 (初日)	3/1	2	3
4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問)	7 常任委員会	8 常任委員会	9 常任委員会	10
11	12 予算特別委員会	13 予算特別委員会	14 予算特別委員会	15 予算特別委員会	16 予算特別委員会	17
18	19	20	21 (春分の日)	22	23 本会議 (最終日)	24
25	26	27	28	29	30	31

※ 請願の締め切りは、2月20日(火)正午の予定です。  
※ 日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

## 天童市議会 ギャラリー



12月15日  
天童市立蔵増小学校6年生  
議場見学



## 編集後記

● あけましておめでとうございます。ラニーニャ現象が発生した今冬の積雪量は、どうでしょうか。  
● 12月定例会で、議会活動を長期休止した場合、報酬を減額する条例が可決されました。議員一同、身を引き締めて、市政のために頑張ります。  
● 広報委員会では、町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞した、川西町の議会だよりの制作現場を、視察して来ました。開かれた議会を目指し、議会と市民が一体となった広報活動は、大変参考になりました。今年「戌年」です。我が議会だよりは、ナンバードンより、オンラインードン、のものを制作したいと思います。(武田)

### 《広報委員会》

委員長 伊藤 和子  
副委員長 武田 正二  
委員 鈴木 照一  
委員 遠藤 敬知  
委員 渡辺 博司  
委員 佐藤 俊弥  
委員 遠藤 喜昭